

大学教育学会第35回大会

【自由研究発表】

図書館外ラーニング・コモンズにおける学習支援の実践  
—大正大学の事例を通じて—

@東北大学 H25.6.2

大正大学 教学支援部  
小幡 誉子

# 自由研究発表

## 1. 大正大学のラーニング・コモンズ

- ①導入・方針
- ②企画・サービス

## 2. 調査

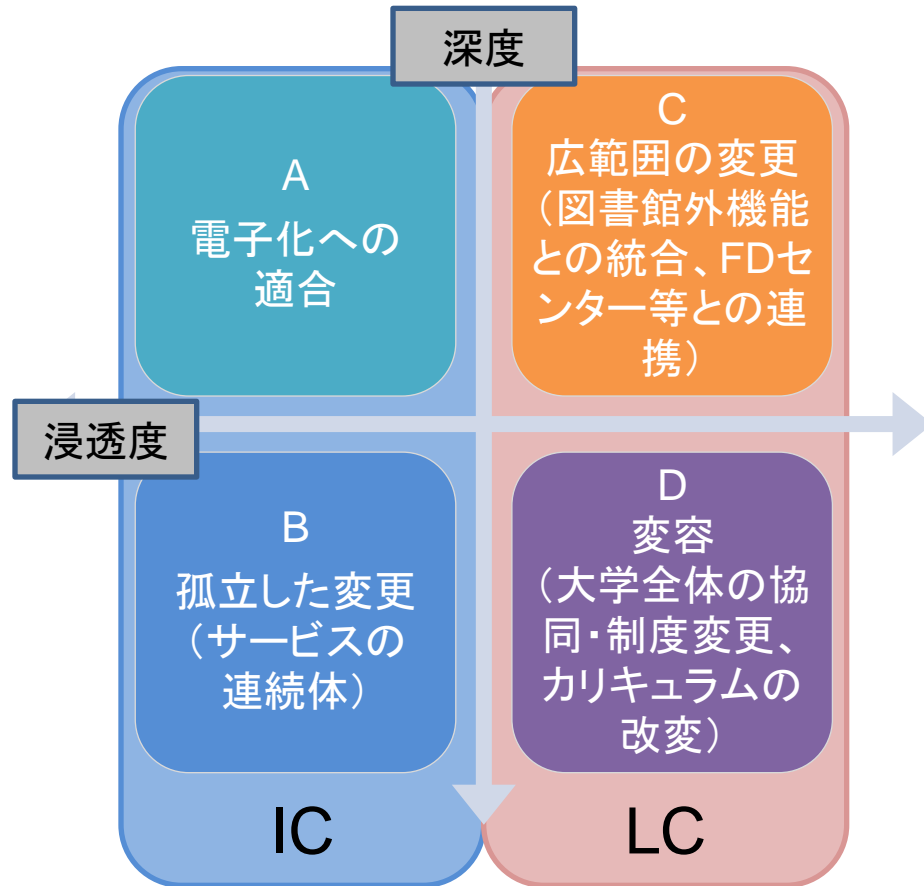
- ①アンケート
- ②インタビュー

## 3. 結論

- ①図書館の外にあることによる効果
- ②今後の課題

# ラーニング・コモンズ

- 1990年代のアメリカの多くの図書館で問題となった、入館者数、貸出冊数、レファレンス処理数の減少という事態に対する解決策として提案されたのが始まり。(PCの普及、電子媒体の増加、授業形態の転換など)
- 日本では、2006年に米澤氏によってはじめて紹介された。
- 日本の大学におけるラーニング・コモンズの導入事例は、2007年以降から増加している。
- それに伴い、ラーニング・コモンズに関する論文も多数発表されている。
- 日本におけるLC導入例のほとんどが、図書館内に設置されたもの。



ビーグルによるICからLCへの進化の過程

- ドナルド・ビーグル,「ラーニング・コモンズの歴史的文脈」,『名古屋大学附属図書館研究年報』(7),25-34,2009
- 米澤 誠,「動向レビュー インフォメーション・コモンズからラーニング・コモンズへ:大学図書館におけるネット世代の学習支援」,『カレントアウェアネス』(289),9-12,2006

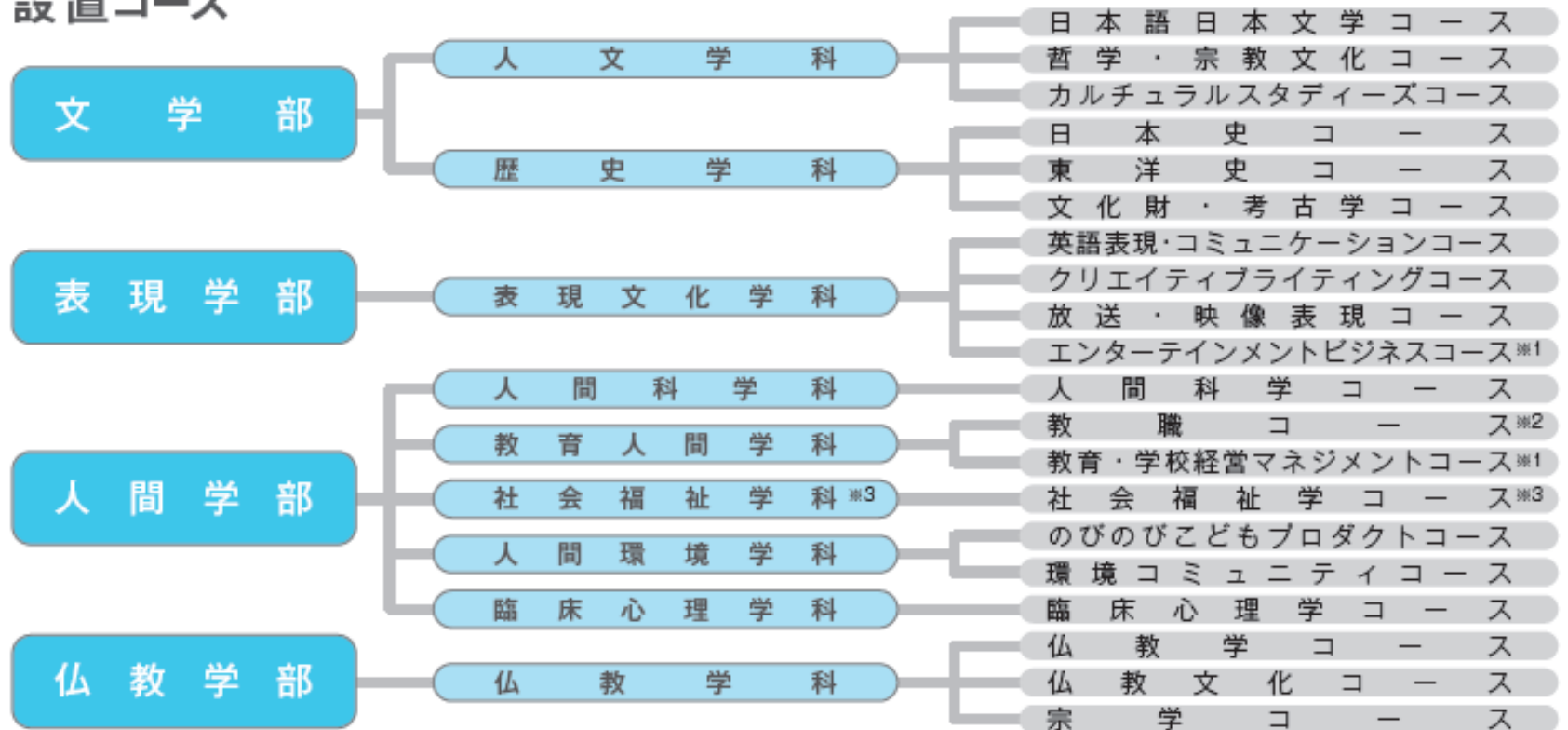
# 大正大学とは

- 所在地  
東京都豊島区西巢鴨3-20-1
- アクセス  
都営地下鉄三田線 西巢鴨駅から徒歩2分
- 大正15年(1926年)  
大学令による大正大学認可
- 三宗四派(天台、真言宗智山派、豊山派、浄土宗)による設立
- 平成28(2016)年に創立90周年を迎える
- 在学生数:学部4,457名、大学院186名(H25.5.1現在)
- 専任教職員数:教員120名、職員93名(H25.5.1現在)

# 大正大学とは

- 学部組織(4学部・9学科・20コース)
- 大学院組織(3研究科・8専攻)
  - 文学研究科・人間学研究科・仏教学研究科

## 設置コース



※1. 2013年4月より新コース設置 ※2. 2013年4月よりコース名称変更(現 教育人間学コース) ※3. 2013年4月より名称変更申請中(現 アーバン福祉学科 ソーシャルワークコース)



# キャンパスマップ



※4号館は建設予定のイラストが掲載されています。

# 本学におけるラーニング・コモンズ導入までの流れ(1)

## 【問題点】

### • 平成21年度の学生満足度調査の結果

→居場所が少ないと感じている学生が多い

「学内で自習、グループワークするスペース」、「学内でくつろぐスペース」に満足していない(「あまり満足していない」「まったく満足していない」と答えた)学生が、それぞれ51.3%と60.4%であった。

(「大学の施設、設備、学生サポートプログラムに関して」より)

### • 食事を取る場所の不足

→ラウンジや学食だけでは不十分、学内のベンチや教室を使用している学生もいる

### • コミュニケーションする場の不足

→学生同士、または学生と教員がコミュニケーションを図り、学習した知識を拡大させ、さらなる理解を深めるための場が不足している

### • 授業形態、学習形態の変化に対応する施設・設備の不足

→授業の評価に、グループ学習やプレゼンテーションの成果を用いるカリキュラムが増加

→それに伴い、学生の学習形態も変化している

→グループ学習の場がないため、学生はラウンジや学食に集まって課題を作成している

# 本学におけるラーニング・コモンズ導入までの流れ(2)

## 【問題解決への具体策 = 学習支援環境の構築】

### • 新7号館の建築

→学生の居場所を増やすため、新しく竣工される教育・研究棟に「学生のための学習空間」を設置

### • 学習サポートを行うことができる場所

→学生の自主学習に対し、教職員によるサポートを行うことができる施設・設備

### • 飲食しながら学習できる場所

### • コミュニケーションしながら学習できる場所

→ラウンジや学食のように、軽い飲食・お話をしながら自主学習ができる空間

→極カルールや制限を作らない環境作り

### • 図書館外への設置

→LCは図書館に設置するのが一般的であったが、既存の図書館棟の面積と改修にかかる予算の問題



# 大正大学ラーニングコモンズの方針

## 授業に関する学習支援

- **ハード**: 図書館は敷居が高いイメージ、図書館以外の場所で勉強している
- **ソフト**: 資料の使い方・必要性、レポートの書き方がわからない = **大学での勉強方法がわからない**
- 気軽に利用できるLCで、勉強方法を学ぶ
- その後一人でも勉強できるようになる、図書館を利用するようになる
- 学習への流れの一端を担う場所

## 授業以外の学習支援

- 就職活動、資格取得を応援 = **学生のニーズ**
- 教員と学生、職員と学生、学生同士のコミュニケーションのきっかけ
- 汎用的スキルの取得(卒業後にも役立つ力)  
プレゼン力、コミュニケーション力、問題解決力、パソコン活用力 等

他部署の  
協力が  
不可欠

大学での学びを総合的に支援する場所

# 大正大学ラーニングコモンズ

- 所在地  
大正大学 7号館 2階
- 竣工  
平成22年4月1日
- 面積  
420.58m<sup>2</sup>
- 座席数  
PCエリア 21席(PC14台)  
グループワークエリア 81席  
ミーティングエリア 32席  
合計 134席



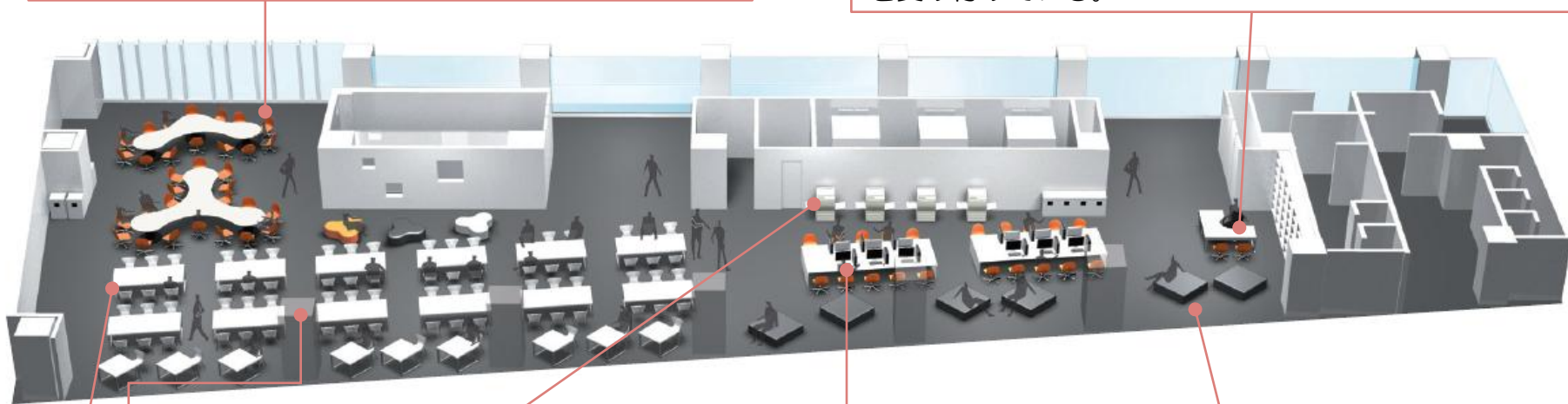
# 大正大学ラーニングコモンズ

## ミーティングエリア

少人数からゼミまで、さまざまなグループ人数でミーティングを行うことができます。

## コンシェルジュデスク

図書、パソコン、プロジェクトの貸出サービス、パソコンやコピー機などの機器の使い方、学習に関する質問等を受け付けている。



## コピー・出力サービス

2台のコピー機を設置しています。このコピー機では、紙媒体およびPDFファイルの印刷が可能です。

## 書架

各種雑誌、図書が配架されています。レポート・論文、プレゼンテーション、学習方法、情報検索、ビジネス書、社会福祉などのジャンルの図書があります。

## グループワークエリア

グループで課題作成やディスカッションを行うことができるエリアです。ホワイトボードも利用することができます。

## パソコンエリア

14台のパソコンが設置されています。レポート作成、プレゼンテーション資料の作成、情報検索、その他インターネットを利用することができます。

## 企画・講座実施エリア

さまざまな企画・講座を実施しています。

# ラーニングコモンズの様子

## ラーニングコモンズ入口





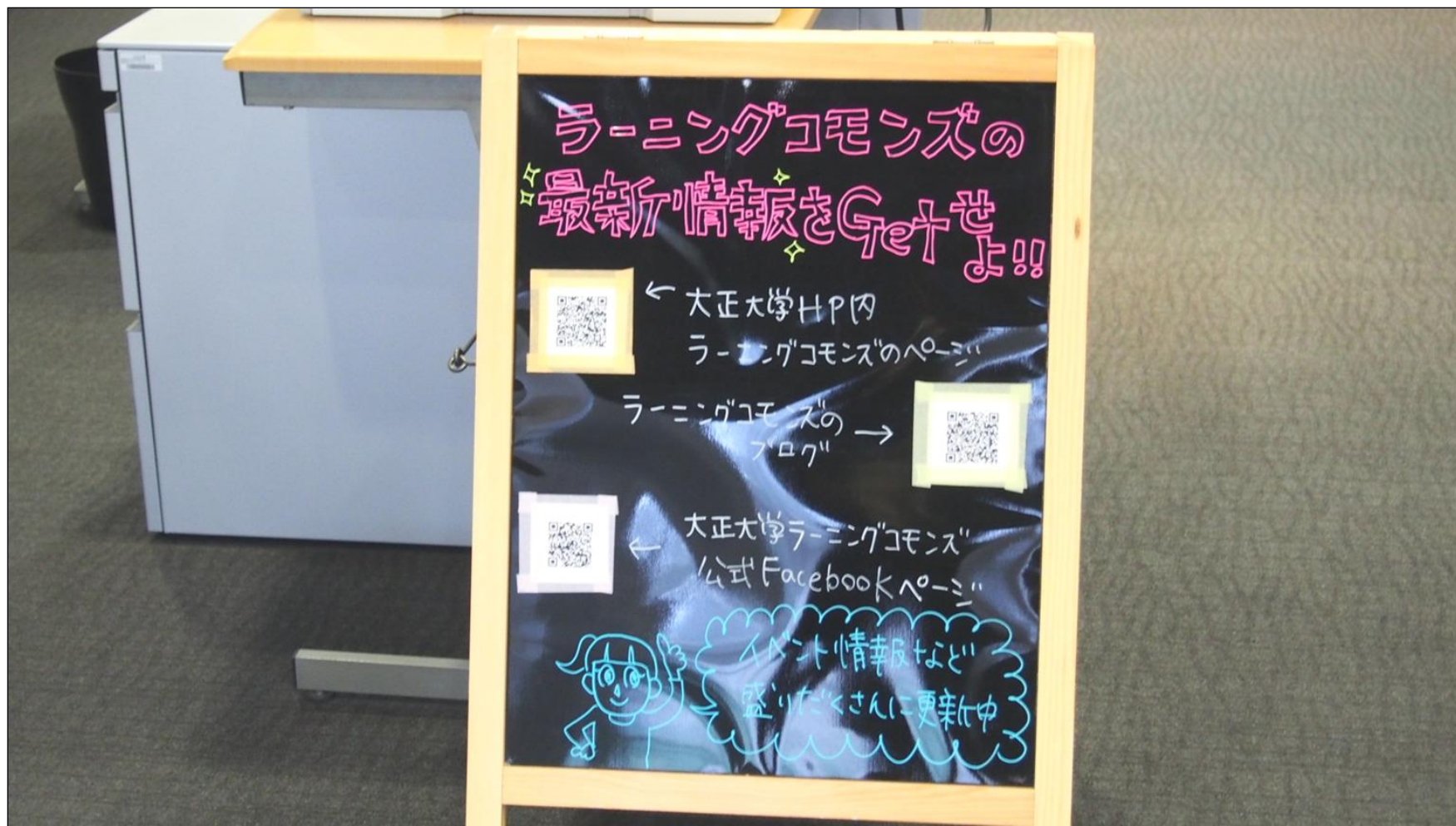
# ラーニングコモンズの様子

## ラーニングコモンズ入口の掲示



# ラーニングコモンズの様子

コンシェルジュからのお知らせ





# ラーニングコモンズの様子

資料コーナー(図書・雑誌)



# ラーニングコモンズの様子



雑誌のバックナンバーが入っています。



# ラーニングコモンズの様子

## コンシェルジュの一言紹介



# ラーニングコモンズの様子

## 一番人気の「先生が薦める100冊」シリーズ

学生のみならず、ぜひ読んでほしい

### 先生が薦める100冊

2013 (平成25年:第4号)

AIIBHO Univ.

★仏教学部仏教学科 教授 廣澤 隆之

<p>『異常の構造』</p> <p>木村 敏 講談社現代新書 (1973年9月)</p> <p>著者は日本を代表する精神分析医であり、仏教や西洋哲学も視野に入れた精神病理の理論を提供してきた。彼の数多い著書のなかでも、本書はきわめて平易に、しかも簡明に精神病理の本質が示されている。精神の異常とは何かを知ることは、実は私たちが当たり前と思っている常識がいかにあやうい觀念にもとづいているかを知ることもある。私たちがいかに生きるべきであるかを深く考えるきっかけとなる名著である。</p>
<p>『すしの本』</p> <p>篠田 統 岩波現代文庫 (2002年11月)</p> <p>日本は世界でも有数の発酵食品文化をつくりだしている。そして寿司は世界に知られた食品である。だが、現代人が当たり前に思っている江戸前は本来の寿司からほど遠い食べ物である。著者は大学の理学部で生理学や発酵学などを研究し、全国のなれ寿司を詳細に調べ上げた。さらにはその寿司の起源を探り日本や中国の古い文獻を逐語し、中国の雲南省まで調査に出かける。寿司とは何かを究める学問は、自然科学と人文学の幅広い領域に広がる。この本はすべての学生にとって学問とはいかに奥深いものであるかを教えてくれる。</p>
<p>『意識と本質』</p> <p>井筒俊彦 岩波文庫 (1991年8月)</p> <p>世界的なイスラーム哲学の研究者である著者の代表的な著作である。著者は西洋哲学と対比させて、東洋の精神のありかたを求める。イスラーム神秘主義、インド哲学、仏教、老荘思想などを透視し、そこには共通のものがあると見え、認識のしかたがあるとす。それは言語を離れた実在についての深い体験的把握であるとする。彼の思想解明は、あらゆる思想研究にとってきわめて刺激的である。知的刺激を受け、読書の面白さを感じてほしい。</p>

27

★表現学部表現文化学科 教授 渡邊 直樹

<p>『戦争は人間的な営みである』</p> <p>野口健氏推薦! 批判的に読んで考えるきっかけが溢れている</p> <p>石川明人 笠木書房 (2012年11月)</p> <p>このタイトルを見ただけで怒る人がいるかもしれない。もちろん、戦争はこの地球上からなくなってほしい。でも、そのためには「戦争」のことは考えるだけでもおぼろしく、「平和、平和」と唱えていれば戦争はなくなるのか。そんなことはありえない。「人間」はなぜ戦争に巻きつけられるのか? 「悪業」からではなく「正義感」や「希望」が「戦争」を引き起こしてしまう人間の性(さが)を見つめる、きわめて真っ当な議論が展開されている。</p>
<p>『ゴーマニズム宣言 SPECIAL 天皇論』</p> <p>小林よしのり 小学館 (2009年6月)</p> <p>天皇とは日本人にとってどういう存在であり、どんな意味をもっているのか? 東日本大震災以降、被災地を訪問されて折る天皇・皇后の姿は国民に大きな感動をあたえた。その歴史的、文化的な意味合いから、現在の「皇室の危機」にいたるまで、大きな論議を巻き起こしながらも真摯に問い続けてきた小林よしのりのマンガは、皇室なんて関係ない、と思っている人こそおすすり、読み必えのある1冊。同じ著者の『新天皇論』『脱皇位論』(小学館)も併せて読んでほしい。</p>
<p>『宗教と現代がわかる本2013』</p> <p>宗教者ニューウェーブ</p> <p>渡邊直樹責任編集 平凡社 (2013年3月)</p> <p>2007年から毎年1冊刊行、1年間に起きた宗教に関わるニュースや現象の背景をわかりやすく解説。今年の特集は「宗教者ニューウェーブ 今と向き合う宗教者たち」。現代社会の抱える問題に真正面から向き合い、苦悩する人々に寄り添い、わかりやすい言葉や新しいメディアを駆使して、問いに応えようと活動する宗教者の姿を紹介する。私が編集した本ですが、大正大学の新生読者には宗教についても関心を持ってほしいので推薦する。</p>

28



# ラーニングコモンズの様子

## PCエリア

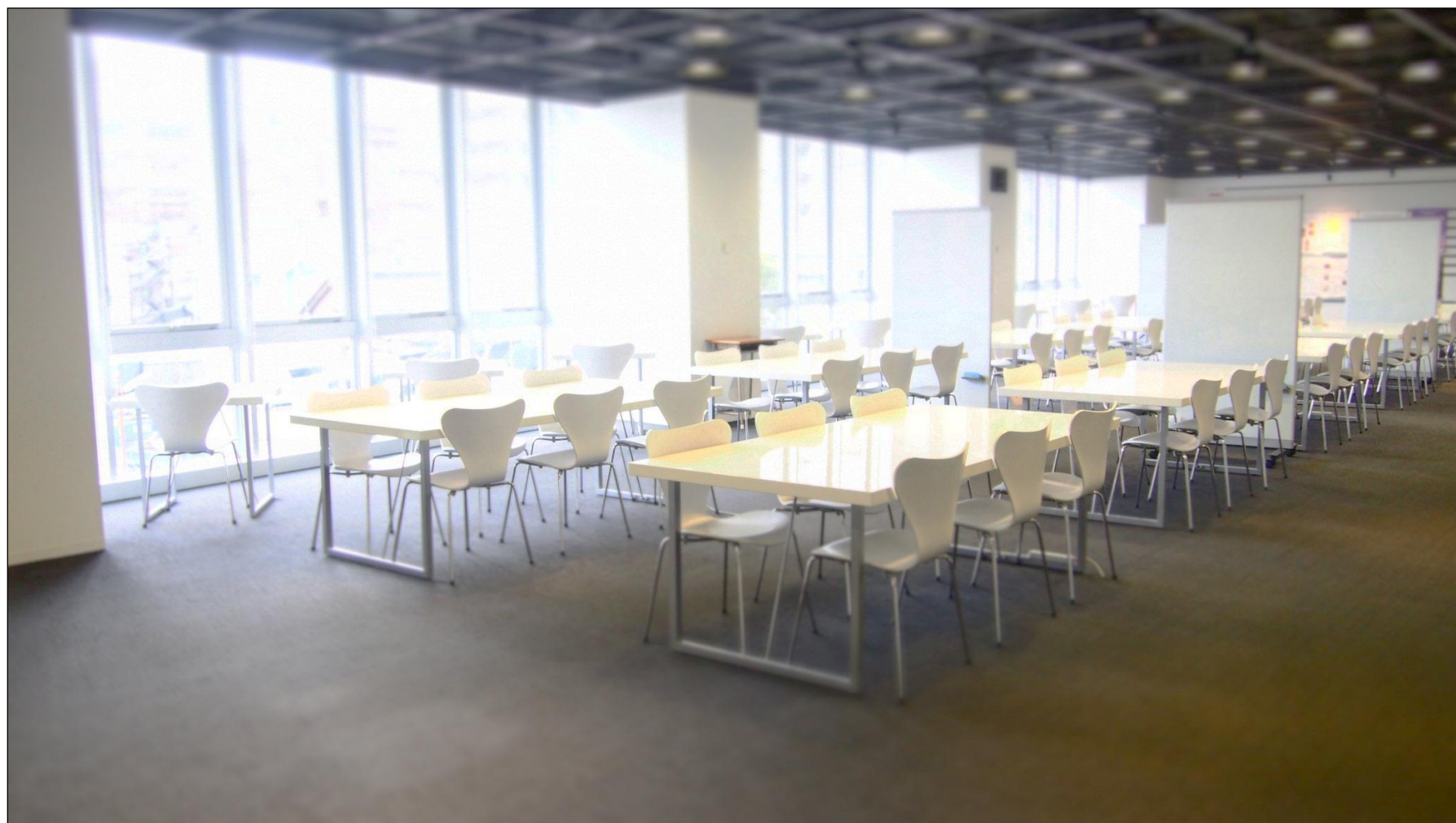


作成した資料は、隣の印刷機で印刷できる

# ラーニングコモンズの様子

## グループワークエリア

20



ty



# ラーニングコモンズの様子

ミーティングエリア：一つの机で1～20人のGWに対応



# ラーニングコモンズの様子

ラーニングコモンズ全体



# ラーニングコモンズの管理・運営

さまざまな部署や教員と連携して運営している(職職・教職協働の重要性)

教学支援部  
学務支援課

- 予算・備品(PC等の機器、図書等の資料)・場所の管理
- コンシェルジュの所属
- 企画「ランゲージ・サポート・センター」の実施・補助
- 企画「知的書評合戦ビブリオバトル」の実施・補助
- 企画「LCミニ講座」の実施

図書館事務部

- LC配架雑誌の整理
- 図書の選書
- 企画「ラーニング・コモンズ・レファレンス」の実施・補助
- 企画「知的書評合戦ビブリオバトル」の実施・補助

就職部  
教務部  
キャリア教育研究所

- 企画「就活カフェ」の実施・補助
- TAP講座(資格取得講座)の履修前ガイダンス実施

教員

- ゼミ等 正科目授業の実施
- 各種企画への参加



# 実施した企画・サービス等

## ①コンシェルジュサービス

- LCミニ講座

「タイピング練習」、「レポート・論文の体裁を整える！Word講座」、「Gmail入門」、「大学内で電子ファイルを印刷する方法」等

## ②若手研究者による「ラーニング・コモンズ・レファレンス」(LCR)

## ③ランゲージ・サポート・センター(LSC)

(留学生による英語、韓国語、中国語、ドイツ語の駅前留学)

- 留学相談会

## ④その他

- 知的書評合戦ビブリオバトル
- 就活カフェ
- TAP講座ガイダンス(資格取得に関する講座)
- 正科目授業(ゼミ等)

# ①コンシェルジュサービス

- 教学支援部 学務支援課に所属する専門職員1名(異動なし)
  - 平日9時～17時に常勤(土日なし)
  - 業務内容
    - 予算管理
    - 図書、雑誌、ノートPC、プロジェクターの管理・貸出
    - その他消耗品(マーカー、マグネット等)の管理
    - PC等に関する質問、学習に関する質問、学生生活に関する質問等の受付
- 学生と各部署の窓口とをつなぐハブのような役割を果たしている。

- 講座
  - LCミニ講座 …… 「タイピング練習」、「レポート・論文の体裁を整える！Word講座」  
「Gmail入門」、「大学内で電子ファイルを印刷する方法」等
  - 新入生必修科目 …… 「大学入門」新入生が春学期に履修する必修科目。  
授業1回分を、図書館と分担して実施する。

- 広報(掲示、資料、ブログ、Facebook等)

# ①コンシェルジュサービス

- 大正大学ラーニングコモンズ公式サイト

大正大学ラーニングコモンズイベントカレンダー

今日 ◀ ▶ 2013年 6月 ▼ 印刷

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	6月 1日
		13:10 ワークショップ	13:00 LCR(臨床心 13:30 ビブリオパト	13:10 臨床心理学	14:50 LCR(歴史学	
2	3	4	5	6	7	8
		13:10 ワークショップ	14:50 LCR(仏教学	14:50 LCR(教育人		
9	10	11	12	13	14	15
		13:10 ワークショップ	13:00 LCR(臨床心		14:50 LCR(歴史学	
16	17	18	19	20	21	22
		13:10 ワークショップ	13:30 ビブリオパト 14:50 LCR(仏教学	14:50 LCR(教育人		
23	24	25	26	27	28	29
		13:10 ワークショップ	13:00 LCR(臨床心 14:50 LCR(仏教学		14:50 LCR(歴史学	
30	7月 1日	2	3	4	5	6
		13:10 ワークショップ 14:40 ビジネス英語	13:00 LCR(臨床心	14:50 LCR(教育人		

予定を表示するタイムゾーン: 東京 Google カレンダー



# ① コンシェルジュサービス

- 大正大学ラーニングコモンズFacebook

大正大学  
TAISHO UNIVERSITY

Learning Commons

大正大学ラーニングコモンズ  
いいね！ 132人・話題にしている人10人

▼ 「いいね！」しています

大学  
大正大学ラーニングコモンズの公式ページです。フロアの利用状況やイベントなど、ラーニングコモンズの最新情報をお届けします。

基本データ

写真

ブログ

動画

いいね！ 132

ハイライト

近況

写真/動画

クーポン、イベントなど

何か書く...

投稿

14人 友達  
が大正大学ラーニングコモンズについて「いいね！」と言っています

大正大学ラーニングコモンズ  
4月16日

春学期の毎週火曜3限(13:10~14:40)は、授業実施のためラーニングコモンズ内のすべてのパソコンの一般利用を停止させていただきます。

大正大学ラーニングコモンズさんがリンクをシェアしました。  
5月22日

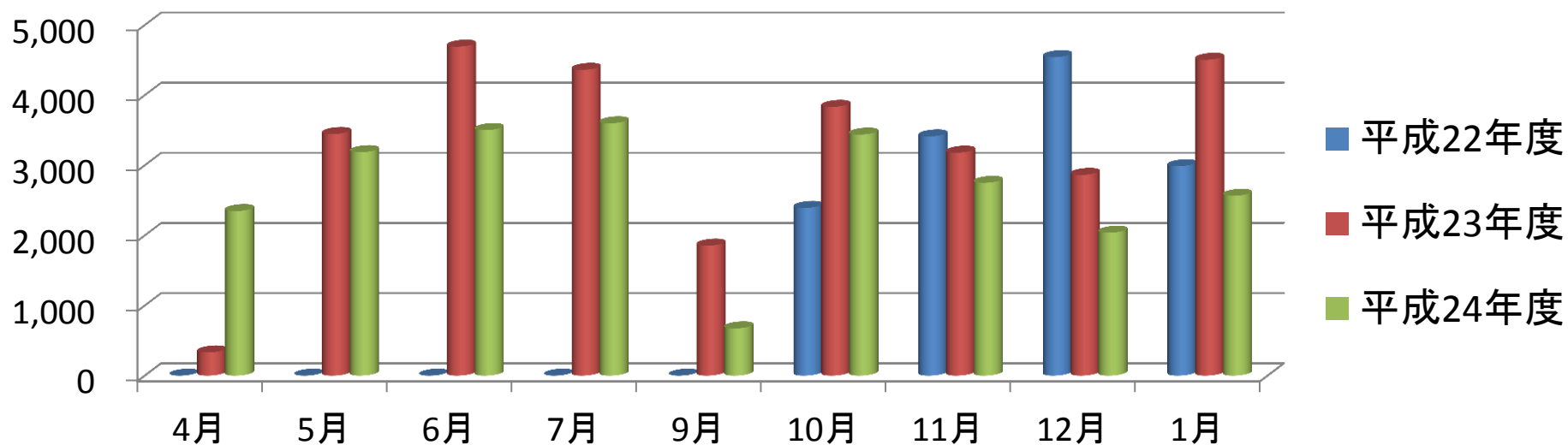
ラーニングコモンズのブログを更新しました！  
→[http://www.taisho.ac.jp/related/tais\\_library/learning\\_co](http://www.taisho.ac.jp/related/tais_library/learning_co)

# ① コンシェルジュサービス

・年間利用者数(平成22年度～24年度)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	合計	月平均
平成22年度	0	0	0	0	0	2,392	3,412	4,542	2,987	13,333	2,667
平成23年度	331	3,446	4,692	4,361	1,854	3,833	3,180	2,863	4,505	29,065	2,907
平成24年度	2,347	3,187	3,502	3,599	674	3,438	2,750	2,039	2,565	24,101	2,678



# ①コンシェルジュサービス

- ・ 質問内容・件数(平成22年度～25年度5月末)

順位	質問ジャンル	質問件数
1	印刷方法不明(PDFとは何か)	268
2	アプリケーションの利用方法	220
3	学内無線LANの利用方法	201
4	コピー機エラー	183
5	その他問合せ	174
6	印刷(その他)	153
7	パソコン(その他)	151
8	PDFの作り方	141
9	T-Poの利用方法	94
10	ID・パスワード問合せ	70

大学側の都合によって問い合わせ増加

## ②ラーニング・コモンズ・レファレンス(LCR)

- 図書館事務部が担当している企画
- 若手研究者(非常勤講師、付属研究所研究員、大学院博士後期課程)が先生
- 1カ月に2回、隔週で開催
- LCRの変遷

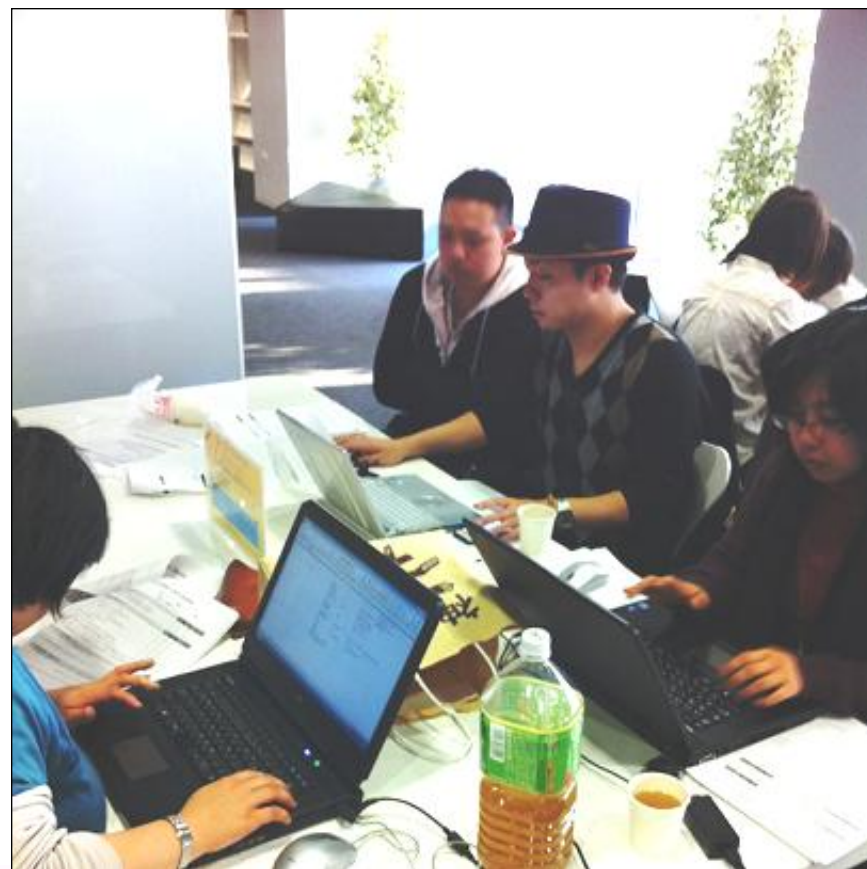
H22図書館員の出張レファレンス → H23分野別レファレンス →  
H24LCレファレンス → H25 サブタイトル～授業の合間に受けるプチレクチャー～

### 【活動内容】

- 各学科に対応した学習方法、論文・レポート作成時のアドバイス
  - 実施者の専門学問領域に係る質問の受付
  - 図書館契約データベース利用法の教授、図書館ガイダンスの補完
  - 図書館蔵書を中心とした基本資料や情報媒体の紹介
  - 実施者の専門学問領域を活かしたイベント企画、実施
- ※イベント実施の際、実施者・参加学生との茶話会形式で行っている。

## ②ラーニング・コモンズ・レファレンス(LCR)

- 平成24年度は教育人間学科、臨床心理学科、歴史学科の先生が担当
- 平成25年度は上記3学科に仏教学科も加わり、計4学科の先生が担当





# LCR:平成24年度実績(教育人間学科)

◆計14回実施 総参加者延べ数:86名

月日	テーマ	参加者数
4月10日	ラーニングコモンズレファレンスガイダンス	0名
5月1日	ゼロからわかるレポートの書き方	1名
5月8日	仏を描いて社会貢献	2名
5月22日	仏さまにキャッチコピーをつける	3名
6月5日	「インタビューをしてみよう!お坊さんの生態調査」(1)インタビュー項目を決める	4名
6月19日	「インタビューをしてみよう!お坊さんの生態調査」(2)実際にインタビューしてみる ※インタビューイ、ギャラリーあわせると約25名の参加数	6名
7月3日	レポートの評価がなんと3割増!?になる書き方講座	12名
10月3日	お坊さんインタビュー報告書『微美坊主図鑑』完成・閲覧、新企画を考える	14名
10月17日	アンケート調査法 (1)対象を決める	9名
11月7日	アンケート調査法 (2)アンケート項目の設定、用紙作成	9名
11月21日	アンケート調査法 (3)予備アンケートの集計	6名
12月19日	アンケート調査法 (4)アンケート調査の集計	10名
1月9日	レポートの書き方指導、アンケート調査に関する講座	7名
1月16日	アンケート調査に関する講座 まとめ編	3名

# LCR: 学生の感想

## 【良い点・おもしろい点】

- 資料の調べ方、レポートの書式、レポートの書き方を細かくみっちり教えてもらったので、どの授業でも使える。納得できる書式でレポートが書けるようになった。
- 仮説を立てる、実際に調査をしてみる、成果を作り上げていく、といった一連の過程を先生と一緒にすることで、理解できるまでが早かった。
- アンケート調査やインタビュー調査など、普段の授業ではちゃんと理解できないようなことを少人数で教えてくれて、とてもためになりました。この後の調査法の授業で役に立ちました。
- フツと思いついた質問や「こんなこと聞いていいのかな」と思う質問にも、絶対に対応してくれる。
- 異なる分野のLCRを受けて、自分の考え方が何に基づいているのかわかった。
- 先生から学ぶのではなく、先生と一緒に学ぶスタイルが新鮮で面白かった。
- 自分たちで質問を作って、実際にインタビューするという経験が初めてだった。
- 先生だけでなく、図書館やコンシェルジュなど職員とのつながりができた。
- 学会の話など、普段聞けないようなアカデミックな話が面白かった。

# LCR: 学生の感想

## 【改善してほしい点】

### ①開催時間・曜日の設定

- 友達も呼びたいが、開催時間・曜日が合わない子が多い。
- 開催時間がもっと長ければ、参加しやすい。
- 授業と時間がかぶっているなので、いつも授業が終わった後に行く。
- 先生と昼休みにご飯食べながら学習の質問する、といった形式がいいのではないか。  
昼休みに開催してもらえれば、みんな参加できる。

### ②参加学生の固定化

- 参加している学生の顔ぶれが、あまり変わらない。
- もっと色々な人と話したい。
- 先生と学生・学生同士の仲が良いので、きっと初めて参加する人は輪に入りにくい雰囲気だと思う。

### ③広報

- LCR開催日などの情報を探すのに苦労した。
- いつ開催してるかわからないので、コンシェルジュに聞いた。



# LCR:先生の感想

【意識して取り組んでいること、気をつけていること】

- 難しいことを解り易く、オモシロく、伝えることを心がけています。また、「誰でも最初は知らない」を念頭に学生さんに接するようにしています。
- 授業ではないし単位にもならない上で、どのように学生に興味を持たせ、かつ負担にならないように2時間で「学んだ」という実感を持たせることができるか。
- 興味関心を惹くための導入説話では、常に新しいネタを用意することを心がけています。
- レポート添削や導入説話に関連して、疑問を持たせ、常に「なぜ？」と思わせて、自分で調べたい欲求を引出しながら、図書館の資料を活用した疑問の解消方法を伝える。
- 本を読むだけでは得られないような「生」の情報や知識を、いかに提供できるかに最も腐心しています。
- 担当分野に限らず、大正大学の学生であれば誰が学んでも面白いと思われるものを提供したい。
- 参加してくれた学生さんには、愛を持って接する。



# LCR:先生の感想

## 【LCRの経験で役立ったこと、新たな発見はあったか】

- 学生さんは基本的に能力が高く、こちらが予期しない回答をしてくれる時もあり、常に学ばされることが多い時間です。
- 想定していない(即答することが出来ない)質問をされた時、事後に調べて勉強することがある。
- 導入説話に図録を多用するのですが、パッと見では気付かない部分への学生の指摘は、その後の授業やLCRで紹介することがあります。私にとっては貴重な財産になっていると思います。
- 研究者だけの研究会で議論を重ね到達できる「発見・気づき・発想」と同じレベルの効果もあるのかも。
- さらなる高度な学習に興味を持っている学生が多いことが分かった。そのことから、学びに興味を持つ学生には一般の学生とは異なる高度な課題を与え、学生と切磋琢磨できる環境をつくることができた。

# LCR:先生の感想

## 【改善点】

- ワークショップ形式のLCRはとても楽しかったが、担当講師に任せっぱなしの形態は少し辛かった。担当部局によるさらなるサポート体制の構築をお願いしたい。
- テーマに関する書籍をもっと購入したい。
- 先生同士の情報共有・前例提示といった共同でのLCR構築、事前研修の実施などがあつたらいいと思う。
- 参加者が固定化している。学生への宣伝、授業との差異化などが、今後の課題だと思ふ。
- 理想像ですが、LCRをサロンにしたい！！  
何気なく集まって、みんなで各自のレポートや、講師の話す内容について意見交換ができる。友達が増やせる。そんなコミュニティ サイトにしてみたい！
- 学生さんの積極的な博物館見学のために、博物館特別展チケット購入の予算をつけて頂きたい。

# ③ランゲージ・サポート・センター(LSC)

- 教学支援部 学務支援課(留学係)が担当している企画
- 本学に留学している学生(韓国語、中国語、ドイツ語)や、外国人教員(英語)が実施する外国語会話スクール → 予算0円
- 外国人留学生と本学学生が交流できる場所、学生の留学参加を促すため
- 留学相談会も常時開催



## ランゲージ・サポートセンター 留学生と学び交流する

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3 限目 13:15-14:15	ドイツ語	ドイツ語	中国語	中国語	韓国語
4 限目 15:00-16:00	リクエスト	リクエスト	英会話 English de Cafe	韓国語	リクエスト

参加希望者は、7号館2階に集合。基本は自由参加です。

留学生と学び、話をしませんか？



# LSC: 学生の感想

- 大学でやってる英会話の授業とは全然違う。会話を楽しんでいるので、勉強してる感まったくない。
- 目標を持って企画に参加すると、もっと勉強したくなる。 楽しく勉強できるのがいい。
- 8~10人と参加者が多くなると、学生全員の名前を確認して、少しリーバイ先生が話ただけで、すぐ終わりの時間になってしまう。 5~6人なら、みんな話せる時間のとれるのでちょうどいい。
- なんとなくわかるけど、聞かれると答えられないこと(cheapとreasonableの違い)がわかっておもしろかった。
- ずっと前から英語を学びたかったけど、普通の英会話スクールに通ったら高いお金がかかる。お金がかからないで英会話を勉強できるのはとても嬉しい。
- 外国人留学生に加えて、大正大学の他コース・他学年の人と外国語を通じて交流できる。 つながり、友達ができた。
- 交友関係が広がって嬉しい。



# その他(ビブバト、就活カフェ、ゼミ等)

- 知的書評合戦ビブリオバトル
  - 教学支援部と図書館との協同開催(広報、参加者集め等)。
  - 「本を通して人と人とが繋がりが合う」場の提供、「本を通して人と知識が繋がる」ことを目的としている。
  - 教職員を交えて実施することにより、幅広い人間関係の構築が期待できる。
  - このゲームに繰り返し参加することで、自分の好きな本を紹介しながら、人前に立って話す、決められた時間内に話を終える、話に説得力を持たせる、などのプレゼンテーションスキルを自然と身に付けることができる。
  - チャンプ本は、LCと図書館に配架される。
- 就活カフェ(就職部が開催)
- TAP講座ガイダンス(資格取得に関する講座の事前ガイダンス)
- 正科目授業(ゼミ等)

# その他(就活カフェ、ビブリオ、ゼミ等)



# 他部署企画との協力体制

- 事前のLC借用申請手続き不要  
予め実施日をお知らせしてもらう。急遽開催も対応可能。
- 開催場所の確保  
開催場所に「何時に〇〇の企画でここを使います」立札を置く)
- コンシェルジュが広報  
(ブログ・Facebook等で情報を流す、チラシ配布、学生に直接声掛け)
- 企画終了後、事後報告としてブログ・Facebookに掲載

LCで実施してもらう企画には、全面的に協力

# アンケート調査

目的: LCと学内の他施設と比較することで、学生がLCをどのように認識・利用しているかを明らかにする。

調査対象: 学部2年生～4年生(有効回答数463人)

調査時期: 平成25年4月～5月

調査方法: 学部2～4年生の必修科目においてアンケート用紙を配布・回収した

調査項目:

①以下の学内施設における利用目的(選択式:2つ・自由記述)

- ラーニングコモンズ
- 図書館
- 学科閲覧室(資料、PC、学習スペース)
- ラウンジ(机、イス、電源)
- 学食

②LCの良い点・改善してほしい点(選択式:複数回答・自由記述)

③大学、LCに求める企画・サービス、その他意見(自由記述)



# アンケート調査結果

## ①学内施設における利用目的(選択肢)

### 勉強

- 一人で勉強
- グループで勉強

### 資料収集

- 図書貸出、複写 等
- レファレンス

### 勉強以外

- 休憩、時間つぶし      ・サークル活動      ・ゲーム
- 企画、サービスへの参加      ・DVD、ビデオ鑑賞
- 友達とおしゃべり、待ち合わせ

### 食事

- 食事

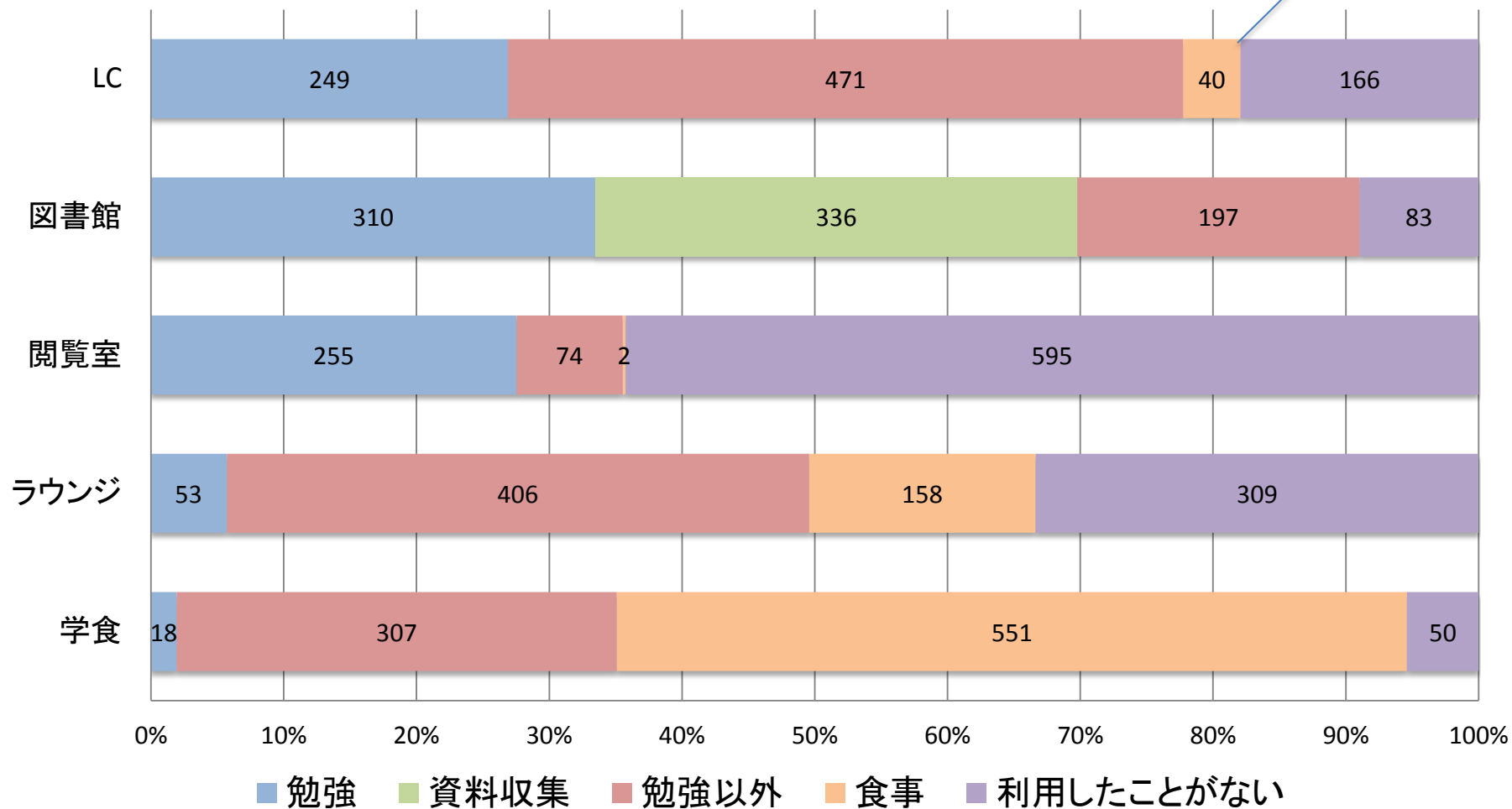
### 利用したことがない

- 利用したことがない
- その他

# アンケート調査結果

## ①学内施設における利用目的(全体集計)

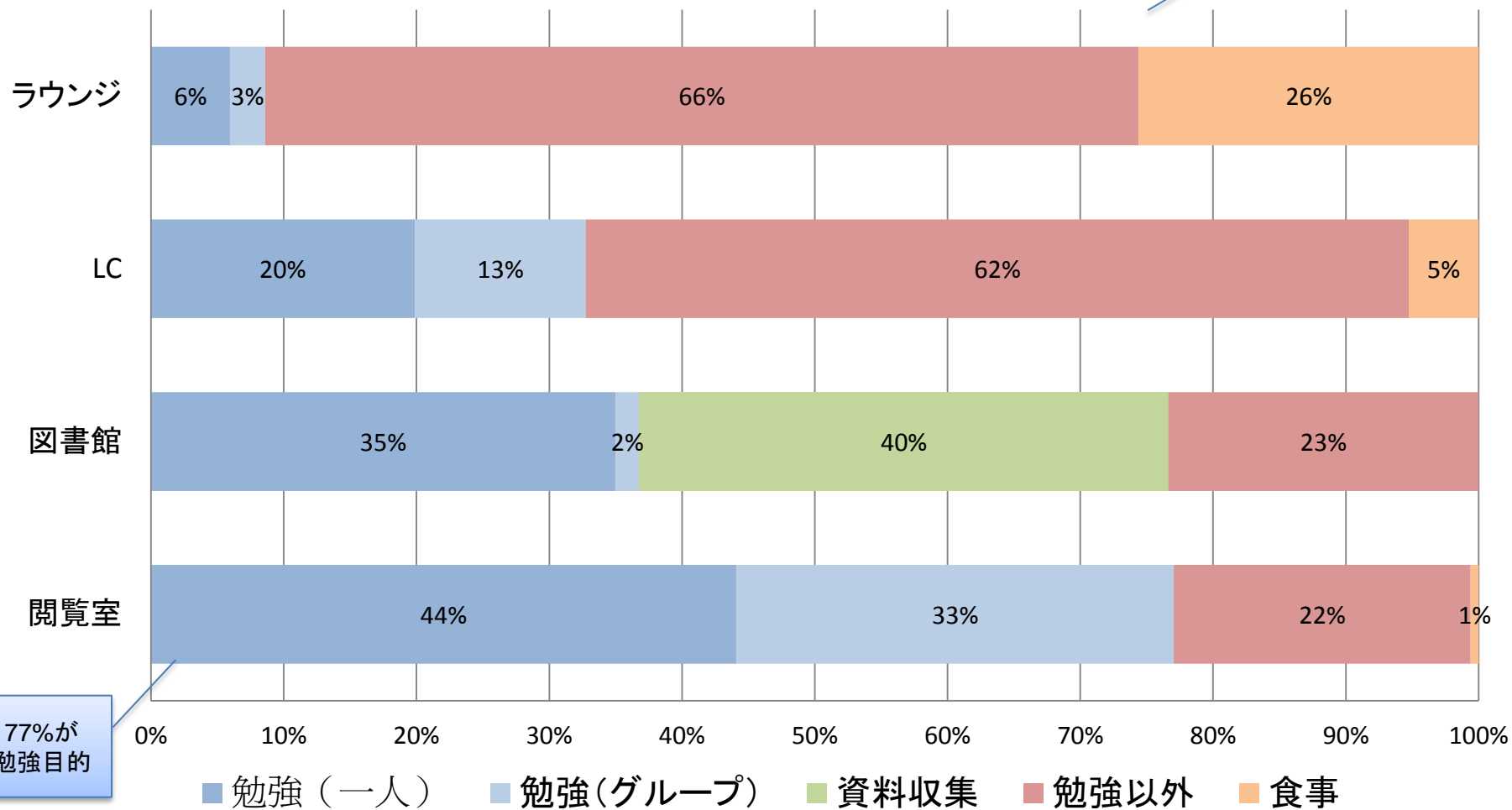
80%以上が  
利用したことが  
ある



# アンケート調査結果

## ①学内施設における利用目的(利用したことがある人のみ)

ラウンジとLCの差  
(ソフト面の違い)



# アンケート調査結果

## ①学内施設における利用目的(3か所比較)

### 図書館

- 資料:充実◎
- PC:検索メイン×
- サービス:レファレンス△
- ルールや制限が多い

### LC

- 資料:全般的、専門性なし△
- PC:いつでも利用可能○
- サービス:コンシェルジュ等◎
- 学生の居場所になっている

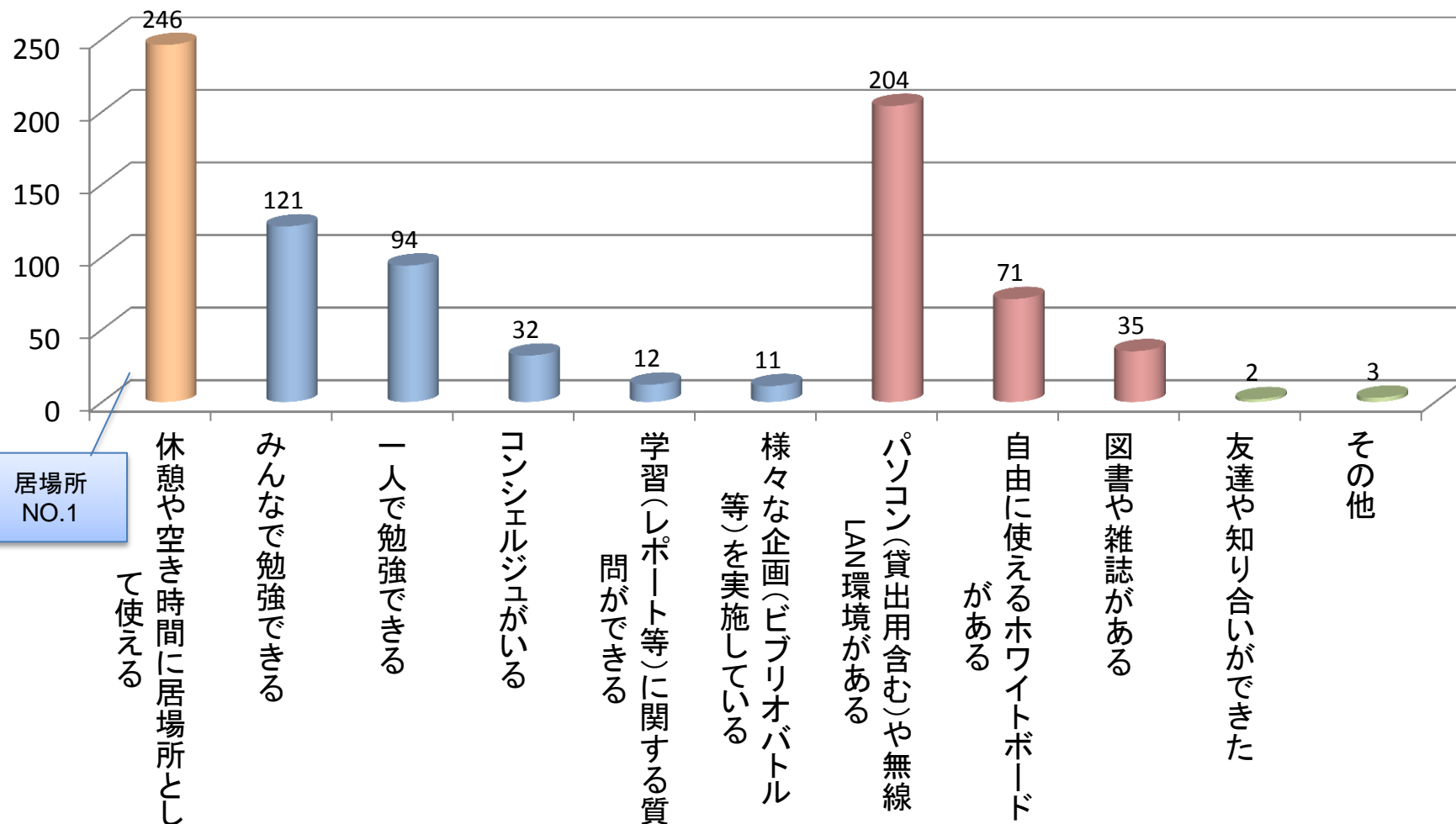
### 閲覧室

- 資料:専門書充実○
- PC:台数少ないorない△
- サービス:なし×
- 利用する学生がかなり限定



# アンケート調査結果

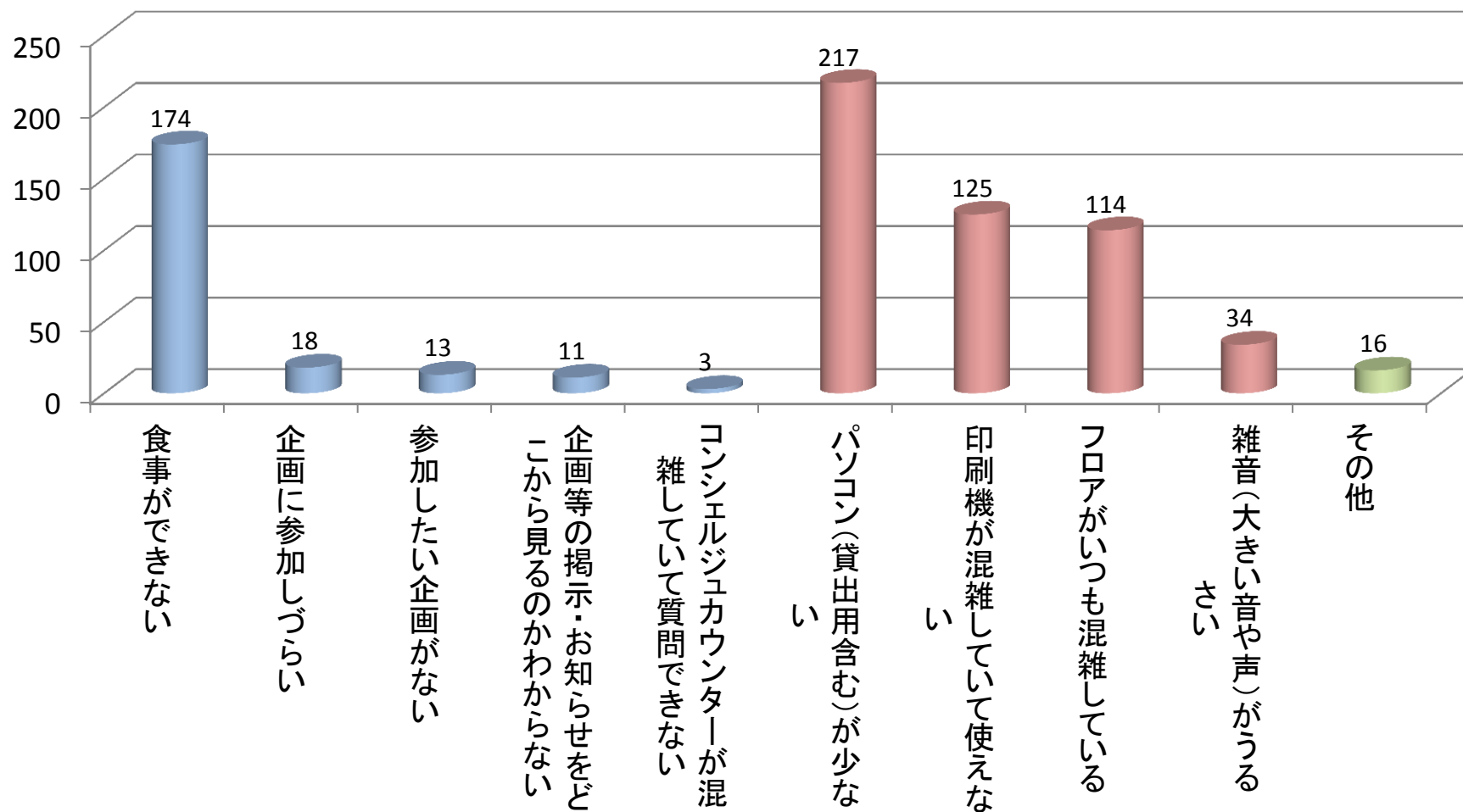
## ②LCの良い点(選択式・自由記述)



居場所  
NO.1

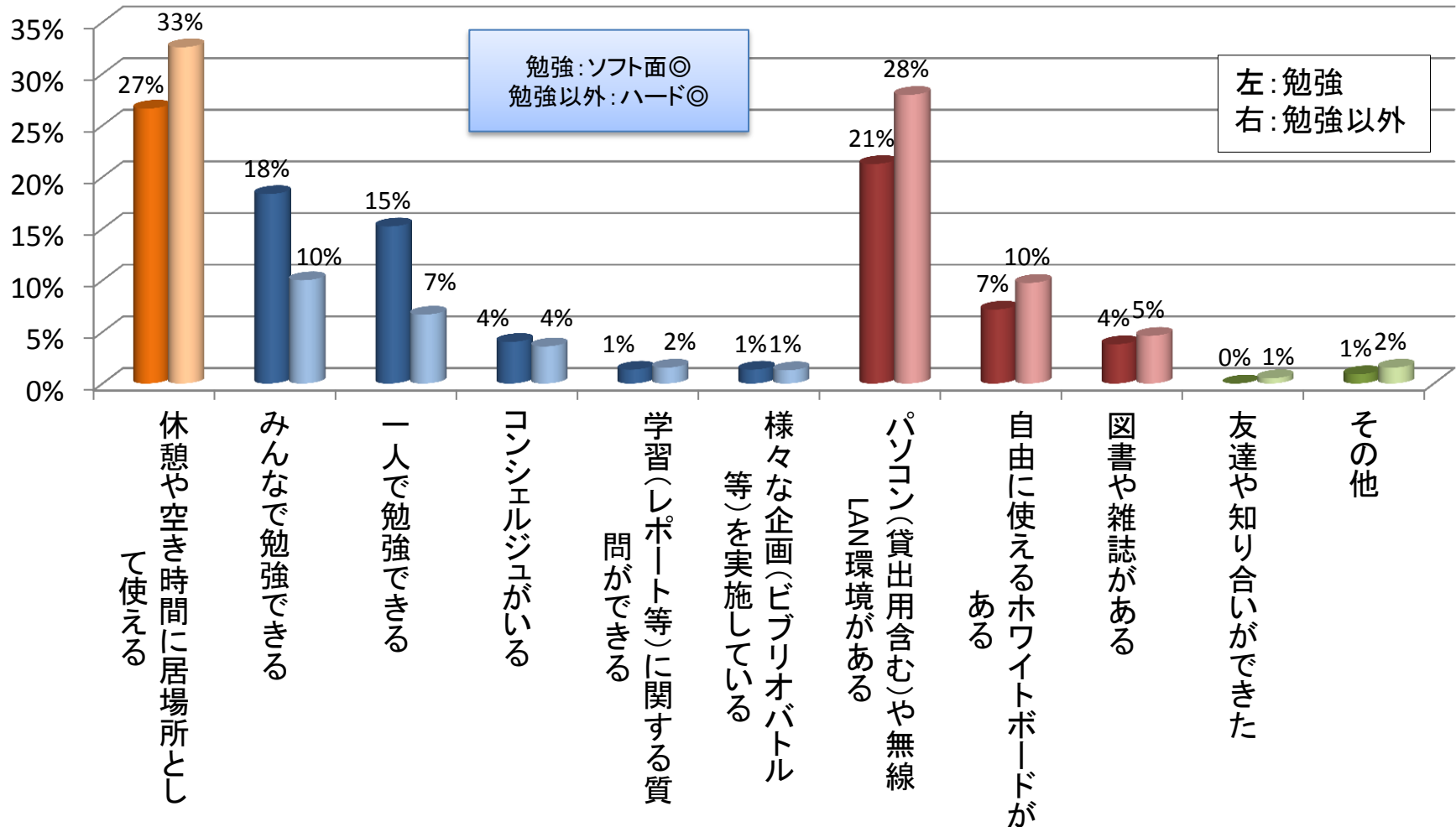
# アンケート調査結果

## ②LCの改善してほしい点(選択式・自由記述)



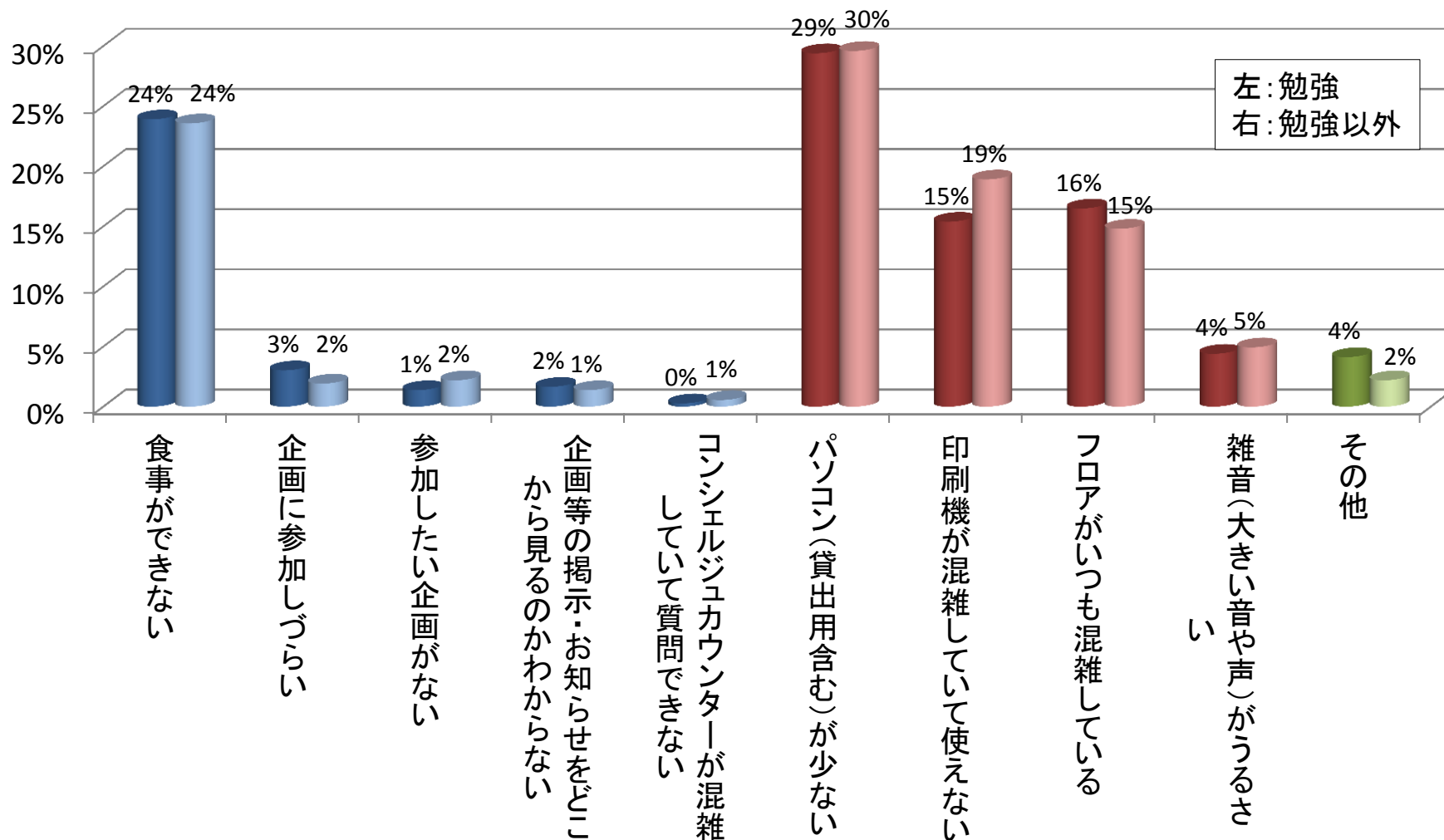
# アンケート調査結果

②LCの良い点(①で勉強と回答した人と、勉強以外と回答した人の比較)



# アンケート調査結果

②LCの改善してほしい点(①で勉強と回答した人と、勉強以外と回答した人の比較)





# アンケート調査結果

## ③大学に求める企画・サービス、LCに対する意見（自由記述）

n = 146	
大学に求める企画・サービス	回答数
就職活動に関する企画（社会人マナー、SPI勉強法、エントリーシート・履歴書の書き方、面接のコツ等）	58
資格関係の企画（就職に役立つ資格、MOSなどPC関係の資格）	12
交友関係を広げられる企画（友達を作る、同じ学年・コース以外の友達を作る）	11
授業の学習に関する企画（レポート、卒論）	10
コンビニを作ってほしい	10
カフェを作ってほしい	4
その他（留学関係の企画、ボランティア活動、教員の講演・公開討論、サークル同士の交流 等）	41

n = 54	
LCに求めること	回答数
食事・飲食できるようにしてほしい（学内に食事できる場所が少ない、LC設置当初は禁止じゃなかった）	26
混んでいる（いつも座るところがない、PCを自分の趣味に使う人には少し注意をして欲しい）	9
コンシェルジュ（いつも助けられている、普段から丁寧な物腰、徘徊してるので気が散る）	5
その他（とても充実しているので満足している、広報活動をしっかりしてほしい、携帯の充電を許可してほしい 等）	14

# 利用者インタビュー

## ①LCのいいところ

- きれい(白と黒の空間、新しい備品)
- ホワイトボードが自由に使える
- PCもコピー機も本もあって、学習するにはとてもいい環境だと思う
- さまざまな企画を開催している
- コンシェルジュがいる、親しみやすい、話す人がいるとLCに行くきっかけになる  
(仏頂面でいられると質問できない、怖くないことは学生にとって重要)
- ポスターがたくさん貼ってある(博物館の企画、講演等)、学びのきっかけになる

## ②改善してほしいところ

- PC、コピー機の数を増やしてほしい
- 飲食を許可してほしい
- もう少し静かな方がいい
- 雑誌のバックナンバーが読みにくい(引出し開けるのが億劫、みんな開けてない)
- かわいい壁掛け時計だけど、見にくい

# 利用者インタビュー

## ③ 図書館との比較

### 図書館について

- 図書館に行くのは、目的(資料収集)がある時だけ
- LCより敷居が高い気がする

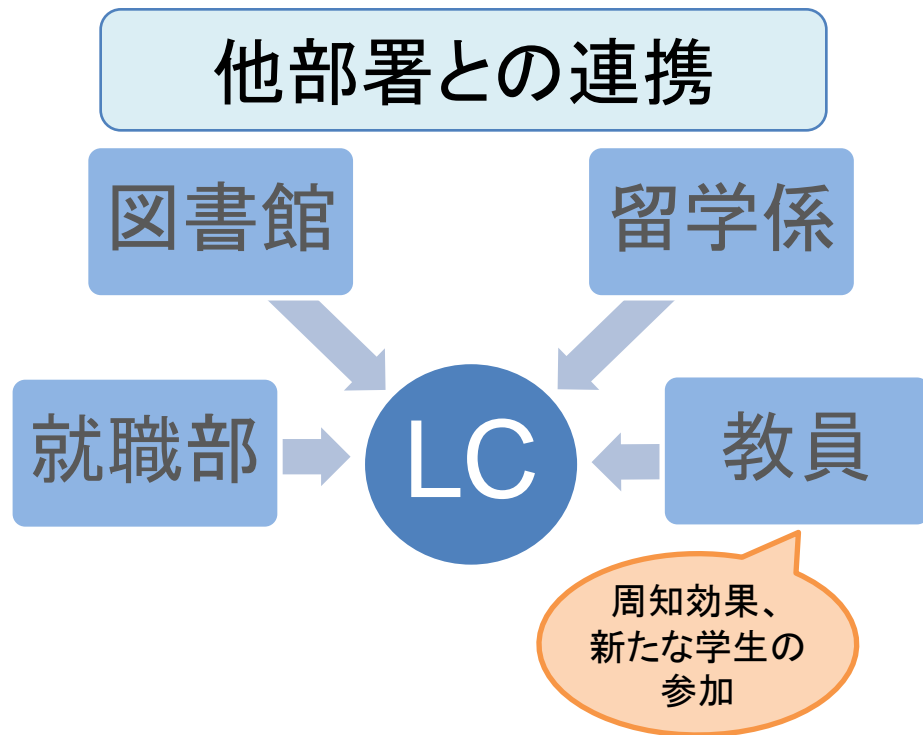
### LCについて

- LCは棟の入口から道がつながっているので、フラッと行ける
- 全体的にオープンなイメージで入りやすい、用事がなくても行ける
- 教室棟の中にあるので、授業の前後に寄れる
- 話せる人(コンシェルジュ)がいる

### 図書館とLCが離れていることについて

- LCは普通の音量で話せるし、勉強以外のことでも利用できるのも、図書館の外にあった方がいい
- 資料が必要な時は図書館に行けばいいので、分けても問題ない
- LCができた当初から離れているので不便を感じない

# 結論：図書館外にあることによる効果



## 【問題点】

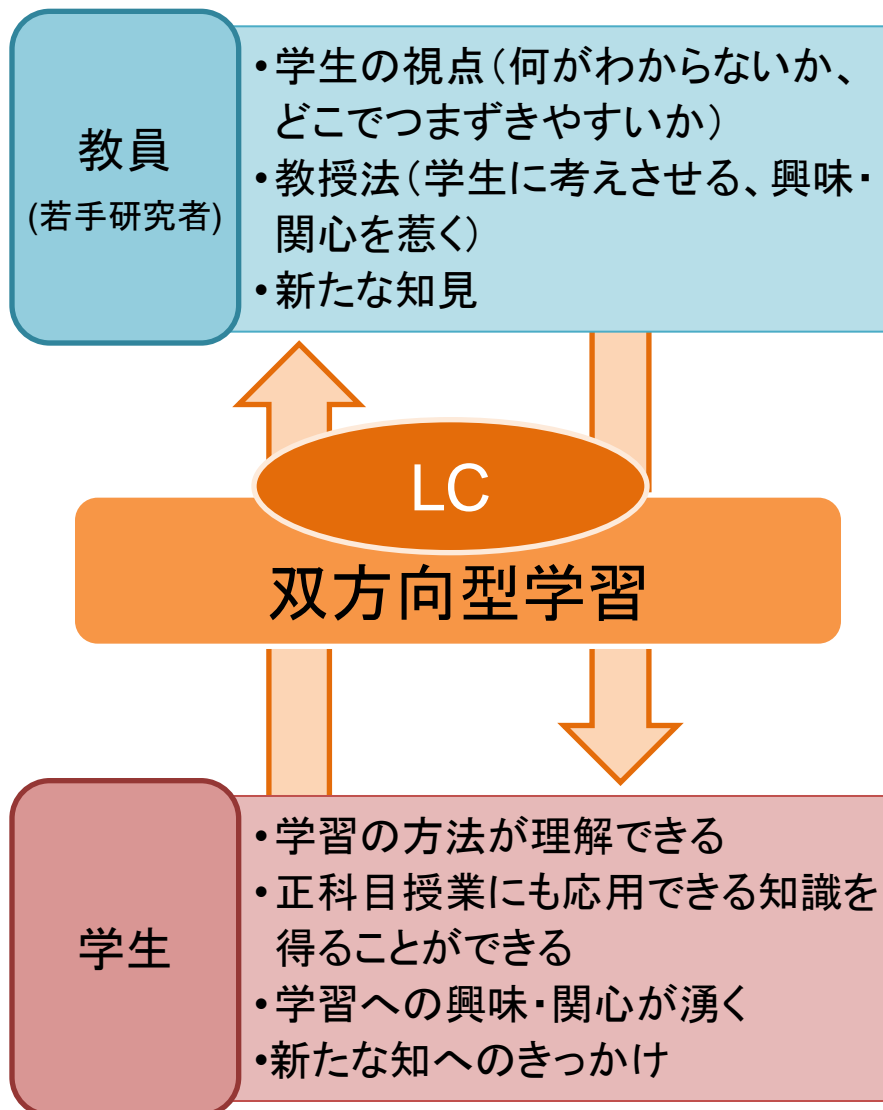
- 複数の場所（各部署とLC）で企画・サービスを提供することによる人員の分散

## 【効果】

- 各部署に分散されているサービスを、学生が集まる一つの場所にまとめることができる
- 学生は大学が提供しているサービスを認知、参加が容易になる
- 大学が意図するLCの利用方法、学習方法を学生に提示・示唆
- 幅広い学習支援の実践
  - 多くの部署（広い視野）からみた学習支援
  - 相乗効果で発展（ビブリオバトル）
  - 教員との連携方法が増える



# 結論：FDの効果



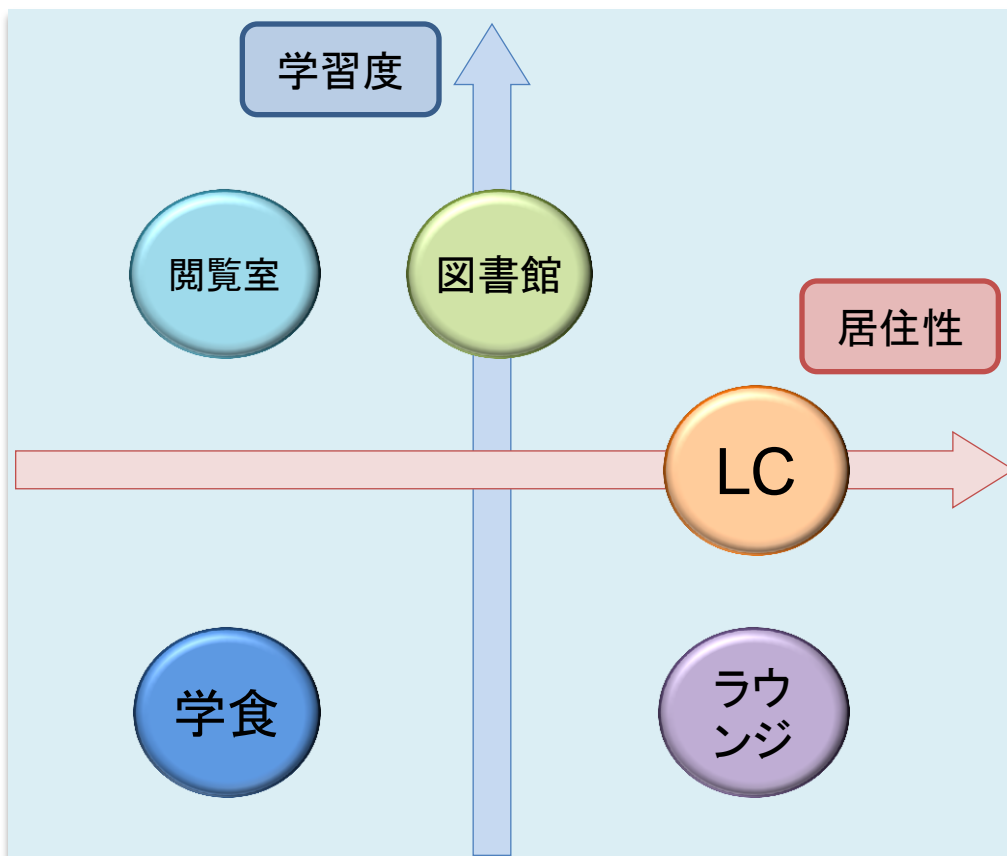
## 【効果】

- 若手研究者に対するFDの効果
  - 教員も「学習形態の転換」に対応しなければならない

## 【問題点】

- 企画実施者への負担
- 実施者同士の情報共有の不足

# 結論：学内におけるLCの位置付け

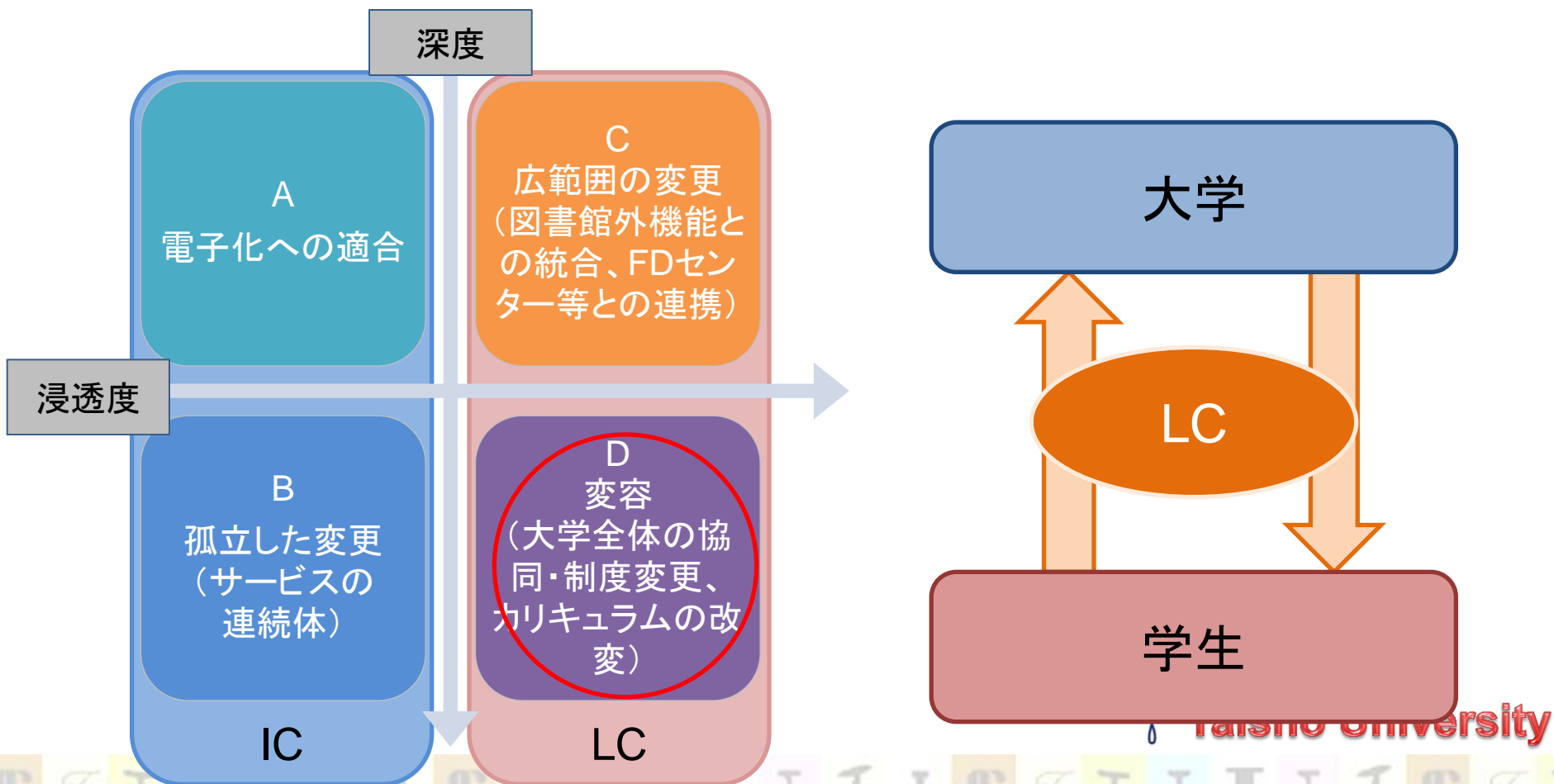


- LCは居住性が高い(調査より)
- 他部署企画の実施に適した場所
  - 他部署からの希望、協力依頼
- 企画を通して、学生の生の声を聞くことができる
  - 教員・事務職員・コンシェルジュそれぞれの立場から学生の反応を聞くことが重要
  - 自分たちの企画、他部署の企画に対する声
  - それらの情報をLCを運営する部署で共有

米澤誠「ラーニング・コモンズの本質：ICT時代における情報リテラシー / オープン教育を実現する基盤施設としての図書館」、『名古屋大学附属図書館研究年報』(7), 35-45, 2009

# 結論：今後の課題

- カリキュラムや個々の授業を見直すきっかけ
  - 企画を通して集めた学生の声は、大学全体で制度化する際に指標の一つとなる



# 今後の課題

- 学生主体の企画
  - コースや授業とコラボし、学生が立案・実施・広報を行う企画の実施を予定している
  - 自らが考え、実行し、評価する(PDCA)過程を通じて、チームワーク力や問題解決力を高める
- 調査の継続
  - 運営側の評価指標として、経年変化を確認
- 利用学生の成績調査
  - LCを利用している学生と全く利用していない学生との成績比較

ご静聴ありがとうございました。